東京大学法学部における寄付講義を再現した書籍「金融法講義」の出版について

このたび、国立大学法人東京大学法学政治学研究科・神田秀樹教授、神作裕之教授および株式会社みずほフィナンシャルグループ(取締役社長:佐藤康博)の編著により、「金融法講義」が出版されましたので、お知らせいたします。

〈みずほ〉は、CSR(企業の社会的責任)への取組みの一環として「金融教育の支援」を掲げ、高等教育分野においては、次世代を担う高度金融人材の育成を目指し、取り組みを進めて参りました。

東京大学大学院法学政治学研究科(山口厚研究科長)においては、2007年度より寄付講座「金融法」を設置し、〈みずほ〉から金融実務に通じた専門家を講師として派遣するなど、金融に関する法学教育を支援しております。

本書は上記「金融法」の講義を再現し、類書の少ない分野において、斯界の第一人者との共同作業から生まれました。伝統的な銀行業務から先端的な金融商品まで、金融をめぐる法的仕組みや論点を、最新の裁判例や実務動向に触れながら、わかりやすく解説しています。

今後も〈みずほ〉は、金融に関する教育・研究活動の増進、将来を担う人材の育成に貢献すべく、引き続き金融教育の支援に取り組んで参ります。

【書籍概要】

【百相似女】	
書籍名	『金融法講義』
編著者	東京大学大学院法学政治学研究科 神田秀樹教授、神作裕之教授、
	みずほフィナンシャルグループ
発行元	岩波書店
価格	4,095円(本体3,900円)
内容	第1章 金融法概観
	I 伝統的銀行取引
	第2章 受信取引法
	第3章 与信取引法1 一貸出し
	第4章 与信取引法2 一債権管理・債権回収
	Ⅱ 現代型金融取引
	第5章 シンジケート・ローン
	第6章 デリバティブ
	第7章 資産運用
	第8章 社債
	第9章 LBO・MBO
	第10章 証券化